

第1回「情報通信技術を活用した公共交通活性化に関する調査」検討委員会議事概要

【日 時】平成25年10月15日（火）10：00～12：00

【場 所】中央合同庁舎3号館4階 特別会議室

【議 題】検討委員会の進め方、公共交通におけるデータ活用のニーズと課題について

冒頭、西脇総合政策局長の挨拶の後、本検討委員会の座長として石田東生氏（筑波大学大学院教授）が選任され、石田座長の進行のもと議事が進められ、各種資料の説明の後、意見交換が行われた。

意見交換の場に出た主な意見は以下のとおり。

- 交通分野における既存調査データと新たなビッグデータをうまく組み合わせていくことが重要である。
- ビッグデータを活用すると何が良くなるのか、具体的な利活用例を想定した上で検討することが大切である。
- データを収集して何をするか考えるというアプローチではなく、まずは新たな公共交通サービス等に対するニーズを把握した上で、データの活用のあり方を考えていくべきである。
- 都市部と地方部の違いにより交通の特徴、データの質・量が異なる点に留意していくべきである。
- 今後の方向性として、国がルールや枠組みを決めてデータを利用していくのか、民間主導で利活用を進めていくのかを明確にしていく必要がある。
- ビッグデータの精度を高めていくと個人の行動が見分けやすくなり、匿名化が必要となってくるので、その活用に当たっては、プライバシーバイデザイン^(注)の考え方が重要である。
(注：サービスの導入の際に、プライバシー侵害のリスクを低減するために、システムの開発等において事前にプライバシー対策を考慮し、企画から保守段階まで一貫した取り組みを行うこと。)
- ビッグデータの利活用に当たっては、社会的なメリットだけでなく、データ提供者のメリットも考えることが大事である。

今回は、ICT（情報通信技術）を活用した施策や新たな公共交通サービスの創出例における課題、利活用可能なデータの内容・収集方法・利用条件と具体的な分析手法、政府における個人情報保護の検討状況などについて、議論を行うこととした。

【次回検討委員会日程】

平成26年1月に開催予定

（ 以 上 ）

【問い合わせ先】

国土交通省総合政策局情報政策課 石川（28-201）
小川（28-211）
溝江（28-212）

TEL:03-5253-8111、直通：03-5253-8334、FAX：03-5253-1564